

平成25年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	大規模災害から学ぶ安全と安心な街づくり ～雷電・希望の街、笑顔の出会いプロジェクト～
事業主体 (連絡先)	東御市民間介護・福祉事業所連絡会 (平成25年度事務局住所 東御市常田2番地1)
事業区分	(4) 安全・安心な地域づくりに関する事業
事業タイプ	ソフト事業
総事業費	2,739,150円 (うち支援金: 1,608,000円)

事業内容

「子どもたちの笑顔で街・元気づくり」

▽宮城県東松島市より子ども大人16名を招き東御市の魅力を巨峰の収穫、自然体験などを通じて体感していただきました。又、それぞれの体験では、市内高齢者や障がい者も多数参加し良い交流の機会となりました。

「大規模災害に備える事業所連携の構築」

▽今後起こりうる大規模災害に備え、東御市内に点在する医療・障がい・高齢者分野の垣根を超えた連携を構築する為に、被災地(宮城県東松島市)を訪問し「安心な街づくり」について学びました。又、一般市民の参加もいただき、現地では地元の方と交流し、専門性だけでなく幅広く「街づくり」を考える機会となりました。

「講演会・写真展」

▽これまでの交流・学びを多くの市民に知っていただき共に「街づくり」を考えるために講演会と写真展を実施しました。講演会では、先に訪問した講師による講演、写真展では、東松島市民と東御市民の笑顔の写真を展示しました。

事業効果

東松島市よりお越いただいた子どもたちの感想として巨峰の収穫や、トレッキングなど自然体験が一番印象に残っているとありました。そして何より、市内在住の高齢者・障がい者とそのような体験をしたことで互いにとって刺激と経験になりました。

研修会や講演会では、様々な分野で活動する会員と一般市民が共に同じ目的を共有したことで、より東御市の将来像について考えるきっかけづくりができました。特に講演会では、折込広告により宣伝したことで、多くの一般市民にご参加いただき現在の東北の様子と、今後の東御市について共有することができました。



(東松島市からの参加者)

※1 自己評価(事業実施率)【 A 】

【目標・ねらい】

- 東松島市の子どもたちに東御市魅力を伝え、市内高齢者、障がい者と交流をもつ
- 連絡会会員、一般市民が共に研修を受け、「街づくり」について考える機会とする
- これまでの活動を、写真を通じて一般市民に伝え、講演会では、大規模災害に備え、東御市ではどんな備えができるのか考えるきっかけ、働きかけをする。

今後の取り組み

これまで私たちは震災を通じて、その大変さや備えを「福祉・医療・介護による安全・安心な街づくり」の視点から学んできました。そして、今回の支援金事業を通じ、それらを一般市民と共有することができました。これまで学び、共有してきたことを今後はより具体化・実践化することが重要となります。具体的には、高齢者や障がい者が避難所に避難した際に、一般市民は彼らとどう関わるのか、どう共同生活をおくるのか、そのマニュアルづくりとマニュアルを活用した事業所と地域との連携構築です。東御市で活動する様々な分野から組織されている当団体として、より良い「安全と安心な街づくり」に貢献できるよう日々取り組みを継続していきたいと思えます。

※2 自己評価 (事業効果) 【 A 】

※1 自己評価 (事業実施率) 欄は、「A」90%以上、「B」70~89%、「C」50~69%、「D」49%以下で示すこと。

※2 自己評価 (事業効果) 欄は、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある